

☆素敵なことがありました☆

鷺の杜小学校 4年生 Mさん音読活動に参加！（火曜午前 日本語講座ボランティア 金田三郎さん）

私たち鷺宮地区の「ことぶき・さぎのみや」では、ほぼ毎週金曜日に鷺の杜小学校の音読活動に協力しています。2時間目終了後の中休みの20分間、一人一人の児童がことぶき・さぎのみやメンバーの前で詩の朗読や暗唱をし、よくできた児童にはメンバーが児童のカードにシールを貼って褒めてあげます。

たったそれだけです、子どもたちは褒められたときに笑顔になり、ことぶき・さぎのみやのメンバーはその笑顔を見て元気をもらいます。2階の広いホールに、毎回、20人ほどのメンバーに延べ200人以上の児童が参加します。

詩は日本語で書かれていますから、あまり日本語を話せない外国の子どもの音読参加は無理です。と思っていましたが、なんと私が日本語支援を始めてまだ5回目の4年生（当時）Mさんが私のところに来ました。同じクラスの2人の女の子に連れられてきました。

私前で2人の友だちが詩を少しずつ読み、Mさんがそれを復唱しました。2人はまるで小さい日本語教師のようでした。Mさんは恥ずかしそうに復唱していましたが、次第に声が大きくなりました。Mさんはまだひらがなを連続して読むことはできません。でも、Mさんが皆と一緒に音読に参加しようとする意欲と、友だちの暖かい協力に私は感動しました。心配なのか、やはり同じクラスの男の子2人を見守りにきました。担任の先生まで見守りに来られました。Mさんは5人に囲まれて全部で何と9編の詩を読んでもくれました。私からは9つのシールを貼ってあげました。

後で副校長先生のお話しによると、担任の先生がMさんに提案したと聞きました。ひと月前に転入してきたばかりで、初めは全く日本語が理解できず担任の先生は英語で意思の疎通を図ってきたと聞いています。今日の音読から、Mさんはクラスの友だちや先生からのあたたかい協力のもと、少しずつ意思の疎通ができ始めていると感じました。2日前に私が日本語支援の学習をしたときは、Mさんはひらがなカードをゆっくりですが読むことができるようになりました。クラスの友だちと先生がすべて日本語教師として見守る中、日本語への理解が早まる予感がしました。

今日の音読はたった20分間のできごとです。でもMさんにとって、自分は一人じゃない、クラスの友だちと先生の日本語教師と一緒にいるのではないのでしょうか。私の少ない経験では、小学4年生は日本語の上達が最も早い年齢です。Mさんの日本語理解が深まるよう、がんばって支援していかなければと気持ちを新たにしました。



音読活動の様子。
左から二番目が金田さん

新入職員紹介 鈴木 直美（主に経理担当）

6月より非常勤職員として勤務しております。A型、蠍座、100%インドア派です。音楽はバッハ、ベートーベン、ビートルズ、落語では古今亭菊之丞師匠がお気に入りです。最近は脳トレを兼ねて、アルトリコーダーを始めました。協会がボランティアの皆さんや、学習者の皆さんが安心して活動できる場となるよう、縁の下の力持ちとして努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

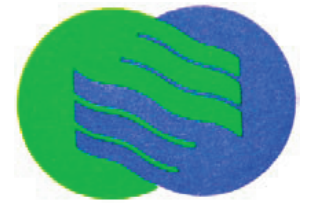


編集後記

都内の子供用品店に行ったところ、近くにいた店員さんもお客さんも中国人。中国語で接客していました。東京に住む外国ルーツの子ども、増えています。



ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

中野区国際交流協会

2025
July

激増する外国につながる子どもたち
～支援の現場から～

2024年度決算・2025年度予算

20年の時を超えて、親子でANICに通っています！

野外交流 埼玉県長瀬町・深谷市

アメリカ家庭料理講習会

素敵なことがありました

新入職員紹介

編集後記



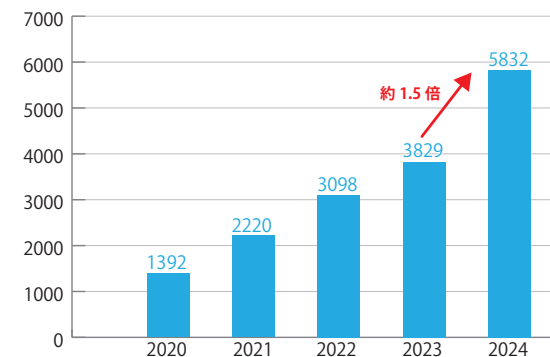
激増する外国につながる子どもたち ～支援の現場から～

2025 年 5 月の中野区の総人口は 343,800 人。それに対して外国人人口は 26,056 人でした。外国人人口は総人口の約 7.6％です。2020 年 5 月は総人口 336,942 人に対し、外国人人口は 19,012 人、約 5.6％でした。5 年間で 7,000 人以上増えています。ANIC の日本語学習者もどんどん増えています。

特に子どもの学習者が増えています。

5 年間で約 4.2 倍、特に 2023 年から 2024 年についてはたった 1 年で 2003 人、約 1.5 倍増えています。今後もこの傾向は変わらないと思われます。

「ANIC で日本語を学ぶ小中学生の
学習者の年間延べ人数の推移」



ANIC の子どもの日本語支援

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
★上記の他、区立小中学校へ 日本語指導員派遣（最大 80時間上限）があります。		9:00～11:50 中学生集中教室		9:00～11:50 中学生集中教室
16:30-18:00 さぎのみや日本語教室	16:15-17:50 子ども日本語クラス	16:00-17:30 やよい日本語教室	16:15-17:50 子どもクラス	

同じ教科書・同じ指導方法で

学年・住んでいる地域によって異なりますが、平日毎日のように勉強することができます。ANIC の日本語支援はすべて同じ教科書を使用し、同じように指導していきます。異なる場所・先生であっても、連携し、無駄なく継続して学ぶことができます。

多岐にわたる子どもの支援

試験の申込などに必要な手続きのサポート

子どもが ANIC で日本語学習をしてしばらくすると、保護者の日本語力を超える場合があります。その時点で、保護者は子どもたちを頼るようになります。しかし、実際、日本で自立して生活するのに、十分な



日本語能力を備えているわけではありません。両親が日本人であれば、親がしているような手続きを子どもが代わりにやっているケースも多々あります。

写真は多文化キッズコーディネーターの説明を聞きながら、都立高校の「在京外国人等特別枠」で受検する中学 3 年生が、住民票記載事項証明を取るための「申請書」の記入をしている様子です。

高校受験の申し込みから、受験後の書類の手続きまで、必要に応じて、サポートしています。

デジタルを活用した日本語学習（協力：中野区教育委員会）

中野区教育委員会は、2023 年度から、不登校支援と日本語指導の一つとして東京都教育委員会の「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業」に参加しています。日本語クラスに参加している子ども数人が遠隔地の講師と会話練習を行っています。5 月は自己紹介の練習をしました。また、バーチャル空間を使って、アバターを動かすこともしました。新しい技術に触れ、慣れ親しむことができました。



在住外国人等の子ども向け安全啓発講座（協力：東京都）

昨年度、中学生日本語集中教室に東京都の都民安全課の方に来ていただき、「安全啓発講座」を開催しました。闇バイト等の最近の犯罪、SNS のトラブルや使い方、違法薬物についてなどの危険について「やさしい日本語」で説明をしてもらいました。生徒たちも真剣に聞いていました。日本語だけでなく、日本で生活するために必要な知識を子どもに身につけられるよう支援しています。



先輩からのメッセージ

4 月の春休み子どもクラス最終日「進級・進学おめでとうの会」にて卒業生のジェイシ・スメリティさんのスピーチがありました。スメリティさんは現在高校生。今も日本語の勉強を頑張っています。現在子ども日本語クラスに通っている学習者と同じ立場だから伝えられることをわかりやすくスピーチしてくれました。

ジェイシ・スメリティさん



私は 2 年前にこの ANIC で勉強したジェイシ・スメリティです。みんなと同じように ANIC に来て勉強をしました。この授業は 1 から 34 課まで 1 年くらいで終わりました。最初はけっこう難しかったですけど、授業中にした内容は自分が自主的にも練習して、できるようになりました。最初はひらがなとカタカナだけ書いてたり読んだりするのも大変でしたが何回も練習をしてだんだんできるようになりました。

ANIC で勉強をするみなさんは Lucky です。

こんな特別な授業はどこでもやっていませんよ。

あなたたちのために先生はみんな朝早く起きて、ここまで向き合ってくれてくれる

んです。みんな知っていますか？
みんなも自分のために一生懸命頑張っていってください。

まだ小学校中学校で勉強しているけれど、先の生活で大変ですよ。

みんなの気持ちはわかっているけれど、今、やらなければならないことがいっぱいありますよ。

今だと難しいことをやりたくなくて、楽しい時間だけ過ごしたいかもしれないけれど、過ごした時間は戻って来ないから、今ある時間を無駄に使わずに大切にしてください。

今年から中学 3 年生になる生徒もいると思いますが、3 年生から受験生になるんですよ。

受験は簡単ではありませんよ。

受験って、何か知っていますか？

受験ではテストの点数だけでなく中学 3 年までの成績もみられるんですよ。

だから後 3 学期ぎりぎりあると思うので、1 秒 1 分 1 時間を大切に使うね。

あとみんな小学校や中学では成績は悪くても 2 年や 3 年生になれるけれど、高

校ではそんなルールがありませんよ！

成績が悪くなったらまた 1 年から勉強をしないといけないんですよ。

だから今から自分の力を付けて生きてほしい。

今ほかの人の話を聞いたら大丈夫だよと思う人がいっぱいいると思うけれど、大丈夫じゃありませんよ。

こんな特別に相談してくれる先生たちもいなくなります。今自分に何か言ってくれるとか教えてくれる人は大切にしてください。でも、ANIC はいつでも何か問題があったら相談に来てください。

ANIC の先生たちよろしくお願いします。

最後になりましたが、みんな自分が自分のためにやらなければならないこと、できることを続けて行って、できないことをできるようにするまで頑張ってくださいね！

最後に、この機会を与えてくれた先生に感謝したいです。

先生たちのおかげでこの機会がもらえました。今までありがとうございました。

2024年度決算・2025年度予算

本年度の事業計画をお知らせします。

1 友好都市推進事業

2 市民交流事業

国際交流フェスタ、野外交流、スポーツ交流、夕涼み会、料理講習会、日本語国際交流サロン、地域イベント等国際交流、多文化共生多言語化推進事業、ボランティア保険



国際交流フェスタ



スポーツ交流「卓球」

3 国際理解・情報交流事業

外国語講座（初めての中国語・初めての韓国語・やさしい英会話）、日本語講座、中学生日本語集中教室、日本語指導員養成講座、日本語ボランティア実践講座、やさしい（わかる）日本語講座、区職員対象やさしい（わかる）日本語研修【受託】、地域の日本語教室の創設と相談拠点づくり、やさしい（わかる）日本語の普及啓発、国際理解講座



日本語講座「ひなまつり」

4 国際交流に関する広報、調査、研究、相談その他の事業

広報（ANIC info, ANIC 短信・ホームページ等）、外国人相談業務、多文化共生相談サポート事業、ボランティア活動支援、調査研究

5 中野・ウェリントン友好子ども交流 2025（受入）【受託】

2025年度 予算

（単位：千円）

	2025 年度	2024 年度	比 較
収入の部	72,504	74,186	▲ 1,682
事業収入	4,335	4,434	▲ 99
補助金収入	59,993	61,417	▲ 1,424
寄付金収入	500	500	0
諸収入	827	712	▲ 115
受託事業収入	5,235	6,021	▲ 786
前期繰越収支差額	1,614	1,102	109
支出の部	72,504	74,186	▲ 1,682
友好都市推進	0	0	0
市民交流	1,531	1,565	▲ 34
国際理解情報交流	12,955	14,072	▲ 1,117
広報・調査	2,160	1,971	▲ 189
受託事業	3,995	4,781	▲ 786
事業事務費	8,606	8,585	21
人件費	37,849	37,577	272
一般管理費	4,408	4,635	▲ 227
予備費	1,000	1,000	0

2024年度 決算

（単位：千円）

	決 算 額	説 明
収入の部		
事業収入	3,633	各種講座参加料など
補助金収入	55,000	区からの補助金
寄付金収入	582	賛助会費など
諸収入	1,309	日本語教科書売上金など
受託事業収入	6,168	区の受託事業
前期繰越収支差額	△ 1,567	
収入合計	65,125	
支出の部		
友好都市推進事業費	0	西城区派遣事業
市民交流事業費	1,105	各種交流事業
国際理解情報交流事業費	11,485	各種講座
広報・調査事業費	1,510	ANIC info の発行など
事業事務費	6,603	事業全般にかかる経費
受託事業費	4,910	中野ウェリントン友好子ども交流（派遣）など
人件費	34,944	職員給与など
一般管理費	3,812	事務局運営費など
支出合計	64,370	
次期繰越収支差額	755	

イベント レポート

20年の時を越えて、親子でANICに通っています！



2005 年 ANIC のイベント参加中にキムさん（父）上段右から 4 番目

です。それから20年後の今年、ジュヨンさんは中野に住み、ANICに通っています。日本にワーキングホリデーで来日することになった時、ぜひ中野へと勧めたのは、もちろんお父さんでした。

20年前の楽しかったこと、親切にしてもらったことが今につながっています。

現在、ANICの日本語クラスで勉強しているキム・ジュヨンさん。お父さんのキム・ジュンホさんは2005年の1年間、単身赴任で中野に住んでいました。その時、金曜ボランティアに参加していました。中野が気に入り、とても良いところだと娘のジュヨンさんに言っていたそうです。当時子どもだったジュヨンさんも単身赴任中のお父さんを旅行で訪れました。お正月には明治神宮へ初詣に行って、とても楽しかったこと、その時にANICのボランティアの人にも会って親切にてもらったことを今でも覚えています。大人になったら、自分も中野に住みたいと思ったそうです。



ANIC の日本語講座で勉強中のキムジュヨンさん（左）

野外交流・埼玉県長瀬町、深谷市

6月8日（日）ANICのボランティア等日本人24名と日本語を学習しているなど外国人の26人で埼玉県の長瀬町・深谷市へ出かけました。中国、韓国、インド、スリランカ、アルゼンチン、ミャンマー、台湾、イラン、フランス、ネパールの人が参加しました。参加者の外国人の方から「初めて埼玉へ行きました。景色、古民家、人との出逢い、SL、店にいたツバメ、全部が良かったです。最後に押してもらった手彫りのスタンプに感動しました。」という声がありました。

〇スケジュール

7：45 配車 中野区役所周辺
8：00 出発
10：00～10：30 聖神社
10：45～11：50 長瀬駅 SL観賞
12：00～12：40 昼食（torocoloファームスタンド）
13：10～13：40 道の駅 おかべ
14：00～15：00 渋沢栄一記念館（体験／休憩）
18：00 中野区役所周辺到着予定



アメリカの家庭料理講習会

5月30日（金）アメリカの家庭料理講習会が開催されました。講師は日本語学習者のホン・ゴードンさんで、アメリカのカリフォルニア出身です。チリコンカン、コールスロー、コーンブレッドの3品を作りました。参加者からは「ホン・ゴードンさんの説明がとてもわかりやすかったです。」「手軽に作れて、とても美味しくできました。」という声がありました。

